



審査は、色や形、硬さ、糖度などを基準に行われました。



おいしい藤岡のナシ 9/上

県内で有数のナシの産地である本市。旬の時期である9月には、ナシの共進会が市役所で行われ、その品質を競いました。出品された「豊水」21点から知事賞他6点が選ばれ、出品物は審査後特別販売されました。粒のそろったナシはあっという間に売り切れるほど盛況でした。

8日には、ららん藤岡においてナシの無料配布も行われました。先着300人分用意した旬のナシは、ふじ娘や市園芸協会果樹部会員から配られ、藤岡のおいしいナシを市内外の人たちにPRしました。

普段の授業とは違い、大学教授の講義やALTとの英語を楽しみました。

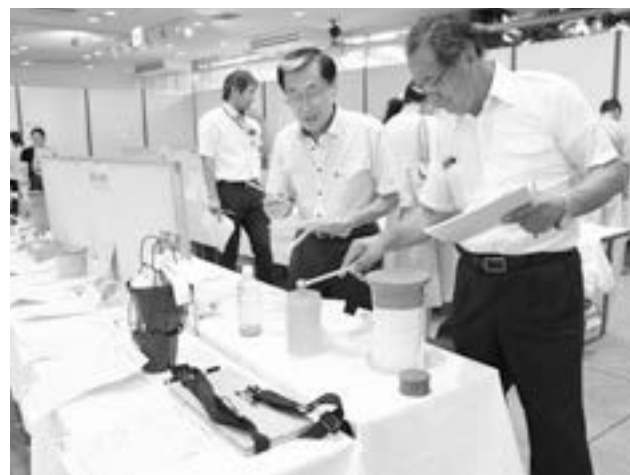


楽しみながら学ぶ 8/下

8月下旬、中学生を対象とした「藤岡算学塾」と小学5・6年生を対象とした「サマー・イングリッシュ・チャレンジ」が教育庁舎で行われました。

藤岡算学塾では、群馬大学の江森名誉教授の講義が行われ「数学は最初から正解が出なくても良い。予想しながら考えることが大切である」と参加した生徒に強調しました。

また、サマー・イングリッシュ・チャレンジでは、行きたい国について英語でスピーチしたり、ALTと一緒にゲームをしたりして英語でのコミュニケーションを楽しみました。



独創性、アイデア性などの基準により入賞作品を審査。

発明のアイデアを競う 9/11

創意工夫の高揚と科学技術の啓発・向上を目的としたアイデア作品展がららん藤岡で行われました。ペットボトルや牛乳パックを使ったものや夏の暑さを和らげるようなアイデア満載の作品229点が出品され、来場者はおもしろい発明品に興味津々の様子でした。

真剣に講師の話に耳を傾ける参加者。



関東管領上杉氏と戦国の世 9/8

平井城を再認識する勉強会が平井公民館で開催されました。参加者は関東管領山内上杉氏の鎌倉公方足利氏・扇谷上杉氏・小田原北条氏との戦国の世の覇権争いについて勉強しました。また戦国時代の城跡の図面や写真を使い、敵から攻められにくい城の造り方を読み解きました。



養蚕に関する研究所や講義録などが展示されていました。

養蚕指導者たちの交流を学ぶ 8/28

藤岡歴史館夏季企画展「カイコの学び舎、そのつながりとまじわりと」が9月2日まで開催されました。来場者は、高山社の高山長五郎やその末弟で競進社を興した木村九蔵などの養蚕指導者や養蚕に関する研究者たちのつながりと交流を裏付ける資料に見入っていました。

全国での成功体験を共有することも大切であると強調。



地域とともにある学校 8/28

保護者や地域住民などとの連携・協働による学校づくりを推進する「コミュニティスクール」の講演会が藤岡公民館で行われました。NPO法人まちと学校のみらいの竹原さんが全国での事例を紹介しながら「地域と学校がパートナーとして活動することが重要である」と話されました。